

議題（3）「第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」の検証方法について【資料3】

①「第1期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」の検証方法の確認

- 議事進行 総合戦略事業シートに沿って事務局及び担当課が説明し、質疑・意見交換
- 検証内容 KPI 達成度、成果（実績）状況、改善・見直し事項、今後の方向性を検証
- 対象事業 単年度でKPIが設定されている事業のうち、達成度70%未満の事業
複年度でKPIが設定されている事業のうち、達成度60%未満の事業
これ以外の事業については事業効果があった継続事業として一括判定

②「第1期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」の検証方法の課題

- 事業数が多いため審議時間が足りない一方、個別事業の審議時間も足りない。
（各事業10分で説明と質疑応答・意見交換が行われていたが、会議時間も予定を超過し、4時間超に及ぶことも常であった）。
- 事業ごとにシートを作成し達成率の低い事業を取り上げていたので、ネガティブチェックになりがちである。また、審議会で取り上げられない事業の検証が不十分となる。
- 本来なら、個々の事業を実施することで総合戦略の基本目標の達成にどれだけ近づいたかという視点で検証すべきだが、個別事業のシートに沿って検証するのみで終わってしまう（次年度以降への展開にもつながりにくい）。

③「第2期まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」の検証方法の案

- 庁内での内部検証の明確化
総合戦略アクションプランに掲載されている事業については、予め審議会の開催前に庁内で内部検証を行う（主要事業調査）。このことにより、担当課には自課事業が総合戦略に位置付けられていることを意識づけるとともに、施策の自己評価を行う機会を設ける。
- 審議会での外部検証の充実化
審議会で取り上げる事業については、一概に進捗状況が悪いものを取り上げるのではなく、上記の内部検証を踏まえ、さらに審議会での検証をいただき事業改善等を期待したい事業や、他の事業の見本となりうる好事例として評価をいただきたい事業を事務局で選出し、改めて審議会の場で検証・評価を行っていただく。事業は戦略体系別に選出するなど過多にならないようにする。
- 審議会開催時期変更による審議結果の施策反映
審議会の開催時期についても、第1期においては年度末に開催される傾向にあり、審議会の議論を翌年度の施策に反映させることが困難であったが、第2期においては審議会での議論を当初予算編成に反映させることができるよう、当初予算要求時期を目途として年内に開催することで、PDCAサイクルの確立を図る。